故障かな？と思う前に
ーおや？故障かなと思ったら…
修理を依頼される前に、もう一度お確かめください。ー

こんなときは	こうなっていませんか？	こうします
操作できない。	・MDが入っていない。（リモコンに「No Disc」が表示されている）	・MDを入れる。
	・「HELLO」や「T.READ」が表示されている。	・「HELLO」や「T.READ」が消えるまで待つ。
演奏できない。	・ホールド状態になっている。（本体またはリモコン）	・本体またはリモコンのホールド状態を解除する。
	・内部のレンズに露がついている。	・MDを取り出し１～２時間待つ。
	・充電式電池が消耗している。	・充電式電池を充電する。
音が出ない。	・何も録音されていないMDが入っている。（リモコンに「BLANK」が表示されている）	・録音済みのMDを入れる。
	・ヘッドホンが外れている。	・ヘッドホンをしっかり接続する。
１曲目から演奏がスタートしない。	・演奏中に止めたり、電源を切ったため。➡リジューム演奏になります。	・I◀◀ボタンを押して１曲目に戻す。
テレビの画面が乱れたりAM放送に雑音が入る。	・テレビやラジオなどのすぐ近くで使っているため。	・テレビやラジオなどから離す。
電源が入らない。	・本体とリモコンがホールド状態で演奏中に電池を交換したため。	・本体とリモコンのホールド状態を解除してから操作する。
充電中に充電ランプが点灯しない。	・充電端子が汚れている。	・本体および充電スタンドの充電端子を清掃する。
	・リモコンに「BYE」表示中のとき充電スタンドに置いたため。	・「BYE」表示が消えてから充電スタンドに置く。
アラーム（スリープ）時間が表示されない。	・アラーム（スリープ）時間カウントダウン中に音量調節などをしたため。	・DISP.ボタンを２秒以上押すと表示されます。
「HI-TEMP」が表示され、充電ランプが消灯する。	・充電中または充電器に置いて再生中に充電式電池の温度が＋60℃以上になったため安全機能が動作。	・周囲温度が10℃～35℃の所で使用する。

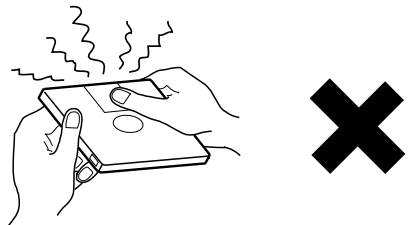
● 上記の処置をしても正しく動作しないときは、いったん充電式電池を入れ直してください。

MDについて

● いつまでも美しい音を保つために

ディスクそのものはカートリッジに入っていますので、ほこりや汚れを気にせず、手軽に取り扱えます。ただし、いつまでも美しい音をお楽しみいただくためには次のことに注意してください。

シャッターは開けないで

シャッターは開かないようにロックされています。無理に開けようとするとディスクがこわれます。

置き場所に気をつけて

次のようなところには置かないでください。
・直射日光が当たるところや車の中など湿度の高いところ
・風呂場など湿気の高いところ
・海辺や砂場など、砂ぼこりが多いところ
ディスクが反ったり、汚れやキズなどで使えなくなる原因となります。

定期的にお手入れを

カートリッジにほこりやゴミがついたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保　証　書（別添）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保　証　期　間
お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

ポータブルMDプレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後８年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りの**サービス窓口**にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　持込修理

「故障かな？と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクも一緒にご持参ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により修理させていただきます。

便利メモ			
	お買い上げ日	年　月　日	ポータブルMDプレーヤー XM-PX501
	お買い上げ店名	☎（　　　）　ー	
	最寄りのビクターサービス窓口	☎（　　　）　ー	

別売りアクセサリー

・カセットアダプター：CK-101
・接続コード（ステレオミニ）：CN-203A
　CN-201A
・充電式電池：BN-R129

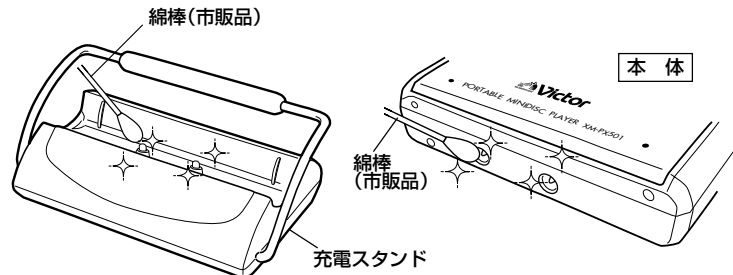
MDのメッセージについて

メッセージ	意　味	処　置
DISC ERROR	・MDが異常（損傷している）。	・新しいMDと交換する。
READ ERROR	・データの読み込みができない。	・もう一度MDを入れ直す。

お手入れ

■本体のお手入れ

本体が汚れたときは、乾いた布でふいてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめて軽くふいたあと**からぶき**します。
・アルコールやシンナーなどは使用しない
・化学ぞうきんを使用するときは、その注意書きに従う

■充電端子のお手入れ

充電端子が汚れていると、充電できないことがあります。
月に一度、市販の綿棒などを使って清掃してください。

主な仕様
ー本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。ー

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1kHz
音声圧縮方式	ATRAC／ATRAC 3(MD **LP**) 方式
チャンネル数	２チャンネル・ステレオ
周波数特性	20Hz～20kHz±３dB（負荷インピーダンス47kΩ）
出力端子	ヘッドホン（ステレオ）×１ 16Ω～47kΩ
実用最大出力	５mW＋５mW（EIAJ/DC）
電源	DC1.2V（充電式電池BN-R129使用）
充電時間	BN-R129：約3.5時間

電池持続時間

＊音量はVOL12のとき	連続再生時間＊		
	SPモード	LP2モード	LP4モード
充電式電池（BN-R129）	約22時間	約26時間	約30時間

周囲の温度や使用状況により、上記の電池持続時間と異なることがあります。

アラーム スリープタイマー	1分～99分（切換式）
最大外形寸法	幅77.8㎜×高さ19.9㎜×奥行81㎜ 幅75.9㎜×高さ17.5㎜×奥行81㎜（突起部を除く）
質量	約103ｇ（充電式電池含む） 約78ｇ（本体のみ）
充電スタンド（AC-R1210）	入力：DC6V（付属のACアダプター使用） 出力：DC1.2V

● SI単位を使用しています。
● EIAJは日本電子機械工業会規格に定められた測定方法による数値です。
● 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

付　属　品

ヘッドホン…………１

電池ケース
充電式電池（BN-R129）……１

リモコン……………１

充電スタンド（AC-R1210）…１

キャリングポーチ………１

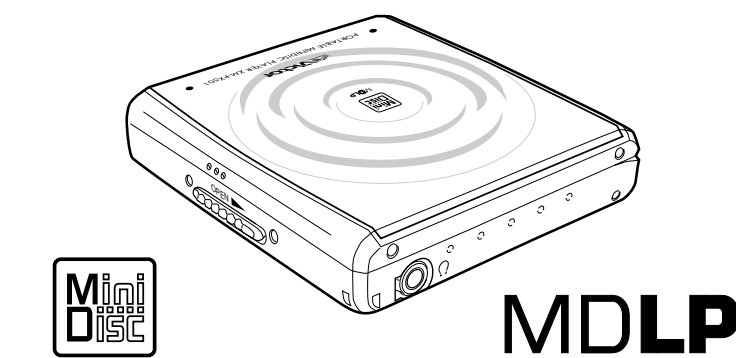
ACアダプター（AA-R501）…１

Victor

取扱説明書

ポータブルMDプレーヤー

型名 **XM-PX501**

Mini Disc
MDLP

ーお買い上げありがとうございます。ー

⚠ご使用の前に
この**「取扱説明書」**をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に**「安全上のご注意」**は、必ずお読みになり安全にお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT0744-001B

ご注意

● 本機は精密に作られています。本機に強い衝撃を加えたり、落下させないでください。故障の原因となります。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。
転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社

別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

東京 ☎(03)5684-9311
FAX (03)5684-9317
〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目14番７号 ビクター本郷ビル

大阪 ☎(06)6765-4161
FAX (06)6765-4891
〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10番16号 大阪ビクタービル

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
パーソナル＆モビールネットワークビジネスユニット
〒371-8543　群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の１　☎ダイヤルイン（027）254-8952

0701 MOMOZK JES

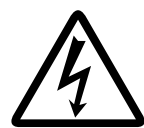
絵表示について

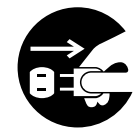
この取扱説明書と製品には、お使いになる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。

● 表示の注意文を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危険や損害の程度を次のように区分し、説明しています。よくお読みのうえ正しくお使いください。

危険	この表示の注意文を守らないと、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容を示しています。
警告	この表示の注意文を守らないと、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。
注意	この表示の注意文を守らないと、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

●絵表示の内容

注意をうながす記号

一般的注意　感電

行為を指示する記号

一般的指示　ACアダプターを抜く

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止　水ぬれ禁止

充電式電池について

⚠危険

■専用の充電スタンド(AC-R1210)で充電する

・指定以外の充電スタンドを使うと、電池の液もれや発熱、破裂の原因となります。充電は本体に入れて行います。

■以下のことを守り正しく取り扱う

・⊕と⊖は、機器の表示のとおり正しく入れる。
・⊕と⊖の端子をショートさせない。また金属性のネックレスやコインなどと一緒に携帯しない。
・加熱したり分解,火の中に入れない。
・外装チューブをはがしたり、傷をつけない。
・火のそばや高温になる場所で使用したり充電しない。
・充電中、発熱や変形その他今までと異なることに気づいたら充電を中止してください。
・長時間使用しないときは、本体から取り出しておく。

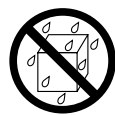
●取り扱いを誤ると、電池の液もれによりけがや周囲を汚す原因となります。万一、もれた液が体についたときは、水でよく洗い流してください。

本体について

⚠警告

■自動車やバイク、自転車などを運転中は使用しない

・運転中に使用すると、交通事故の原因となります。
・また、歩きながら(特に踏切や横断歩道など)使用するときも周囲の交通や路面状況に十分ご注意ください。

■水をかけたりぬらしたりしない

水ぬれ禁止

・機器を水がかかる場所(風呂場や台所など)で使用すると、内部に水が入り、火災や感電の原因となります。
・万一、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り販売店にご連絡ください。

■分解・改造しない

分解禁止

・内部に金属物が入ると、故障や火災、感電の原因となります。
・点検や修理は販売店にご依頼ください。

⚠注意

■大音量で長時間つづけて聞きすぎない

・耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
・はじめから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳をいためることがあります。
音量は徐々に上げましょう。

■充電式電池を機器に入れるときは、極性表示(⊕と⊖の向き)に注意し、機器の表示通り正しく入れる

・間違えると電池の破裂、液もれにより、火災やけが、周囲を汚す原因となります。

充電スタンドについて

⚠危険

■専用のACアダプター(AA-R501)を使う

・指定以外のACアダプターを使うと、故障や火災の原因となることがあります。
・XM-PX501専用の充電スタンドです。他の機器の充電はしないでください。

ACアダプターについて

⚠警告

■電源は、交流(AC)100Vを使う

・指定以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。
・充電式電池：BN-R129専用の充電スタンドに使うACアダプターです。他の電池の充電には使用しないでください。

■プラグは定期的に清掃する

・プラグにほこりなどがたまると、湿気等で絶縁が悪くなり火災の原因となります。プラグを乾いた布で清掃してください。
・充電が終ったら、ACアダプターをコンセントから抜いておいてください。

■ぬれた手でACアダプターを抜き差ししない

ぬれ手禁止

・感電の原因となります。

■電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換を依頼する

・そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■電源コードの上に重い物を乗せたりしない

・コードに傷がついて火災・感電の原因となります。

■分解・改造しない

分解禁止

・内部には電圧の高い部分があり、故障や火災、感電の原因となります。
・点検や修理は販売店にご依頼ください。

■ACアダプターを布団などで、おおった状態で使用しない

・熱がこもり、ケースが変形したり火災の原因となります。

ACアダプターについて

⚠注意

■ACアダプターは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない

・発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

■ACアダプターを抜くときは、電源コードを引っ張らない

・コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず本体を持って抜いてください。

使用上のご注意

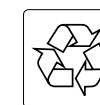
■本体の置き場所について

次のような場所には置かないでください。変形や変色、故障の原因となります。
・窓を閉めきった自動車の中(とくに夏期)
・風呂場など湿気の多いところ
・ホコリの多いところ
・直射日光の当たる場所や暖房器具の近く
・腐食性のガスなどが発生するところ

■航空機の中では電源を入れないでください

機内の電子機器に影響を与える恐れがあります。必ず機内では電源を切っておいてください。

■充電式電池について

・充電中は、ACアダプターが熱を持ちますが、異常ではありません。
・ラジオの近くで充電すると、AM放送に雑音が入ることがあります。
・充電は周囲の温度が10℃～35℃の所で行ってください。
・持ち運びや保管するときは、付属の電池ケースをお使いください。
・長時間使用しないときは、充電式電池の性能劣化を防ぐため半年に1回以上充電しておいてください。
・十分に充電しても使える時間が通常の半分以下になったときは、新しい充電式電池と交換してください。充電式電池の寿命です。
・ご使用済みの充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

Ni-MH

■電池を交換するときは、必ず電源を「切」にしておいてください。

・電源「入」のまま交換すると、設定が変わったり故障の原因になることがあります。

■操作中の動作音について

・本機は、省電力の動作方式になっています。このため、動作中は断続的に動作音がしますが故障ではありません。

電源を準備する

充電式ニッケル水素電池：BN-R129(以下、充電式電池といいます)で使う

1 本体に入れる

2 充電する

①ACアダプターをつなぐ

充電スタンド
：AC-R1210（付属品）
他の機器の充電には使用しないでください。

②本体を充電スタンドに置く
➡充電ランプが点灯し、充電スタート

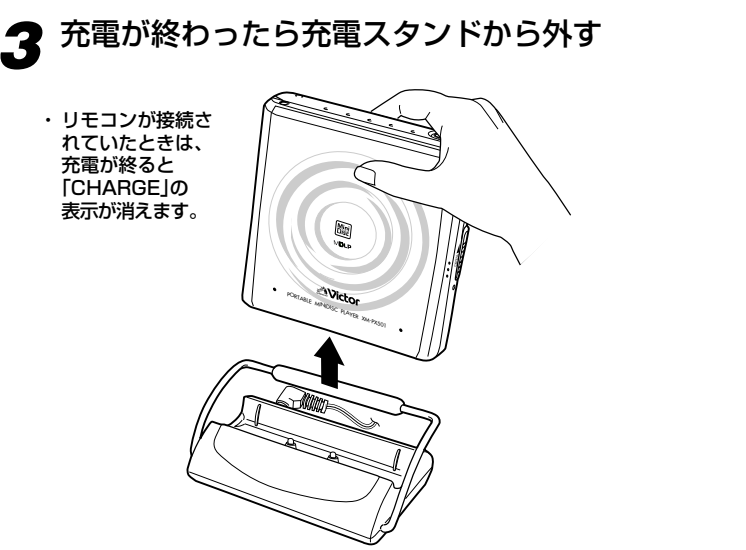
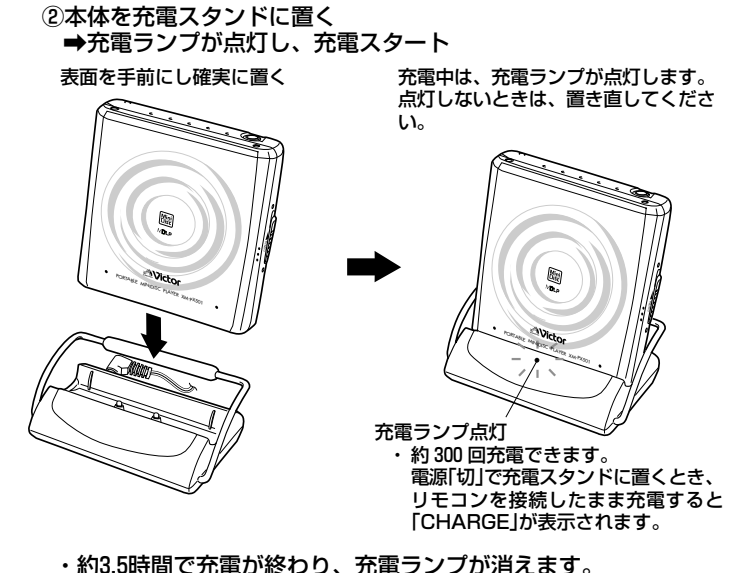
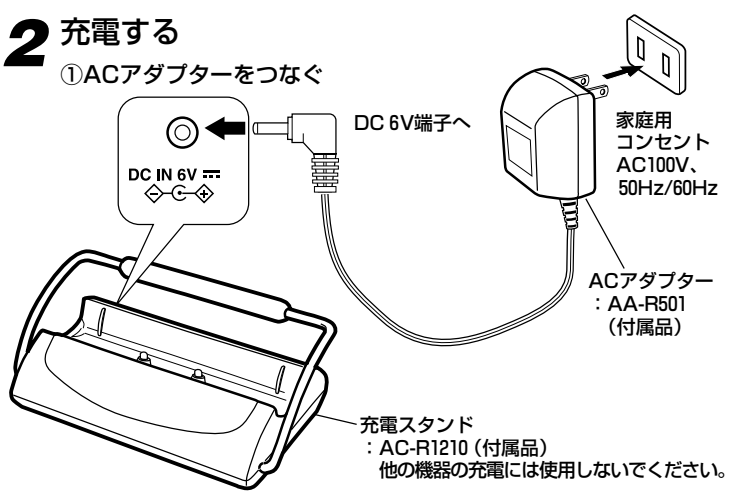
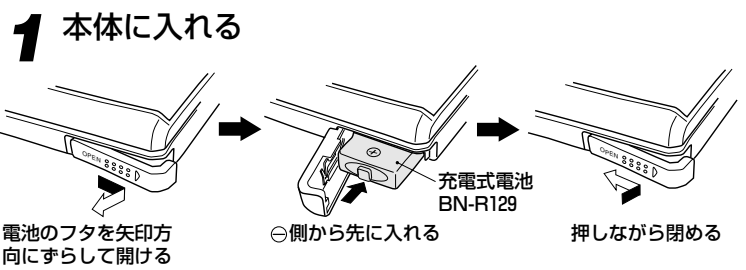
表面を手前にし確実に置く

充電中は、充電ランプが点灯します。点灯しないときは、置き直してください。

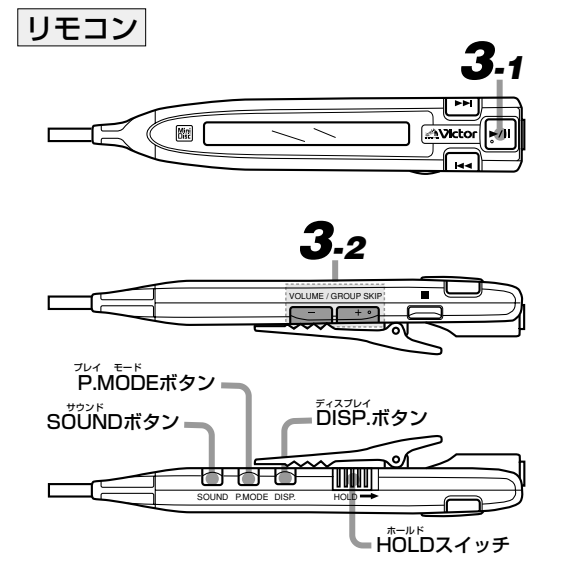
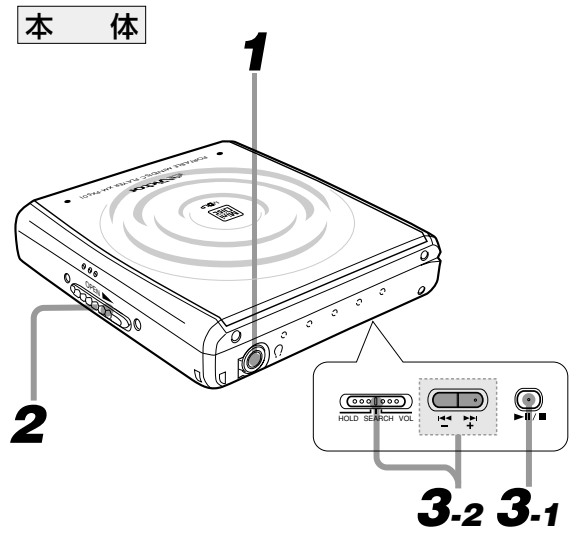
充電ランプ点灯
・約 300 回充電できます。
電源「切」で充電スタンドに置くとき、リモコンを接続したまま充電すると「CHARGE」が表示されます。

・約3.5時間で充電が終わり、充電ランプが消えます。

3 充電が終わったら充電スタンドから外す

・リモコンが接続されていたときは、充電が終わると「CHARGE」の表示が消えます。

●初めて充電するときや長時間使用しなかったときは
充電しても通常の使用時間より短いことがあります。何回か充電と再生をくり返すと正常に戻ります。

MD(ミニディスク)を聞く

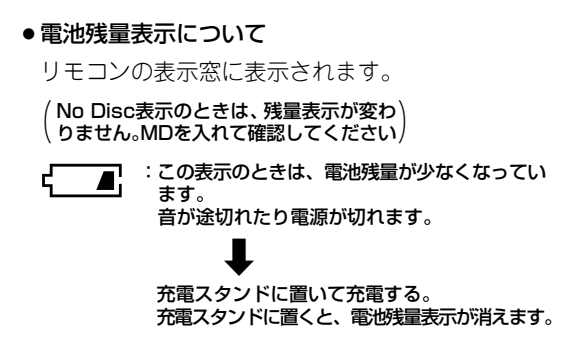
本　体

MDLPについて

●MDLPで録音されたMDは、MDLPが表示されているMDレコーダー／プレーヤーで再生できます。

●電池残量表示について
リモコンの表示窓に表示されます。
（No Disc表示のときは、残量表示が変わりません。MDを入れて確認してください）

：この表示のときは、電池残量が少なくなっています。
音が途切れたり電源が切れます。

⬇

充電スタンドに置いて充電する。
充電スタンドに置くと、電池残量表示が消えます。

ご注意

●充電式電池を入れずに充電スタンドに置くと、充電ランプが点滅しリモコンには「DEMO」が表示されます。
●演奏中に充電スタンドに置くと、充電ランプが点灯し充電されますが満充電にはなりません。
満充電するときは、電源を「切」にして充電してください。

1 リモコンとヘッドホンをつなぎ本体に接続する

（リモコンをつないだとき電源が入ることがありますが、そのままにしておくと自動的に電源は切れます）

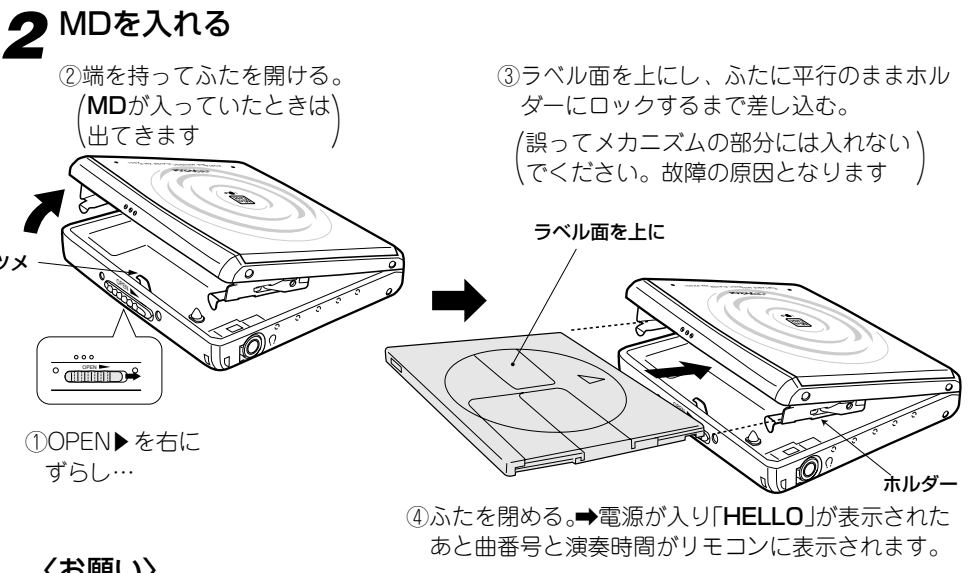
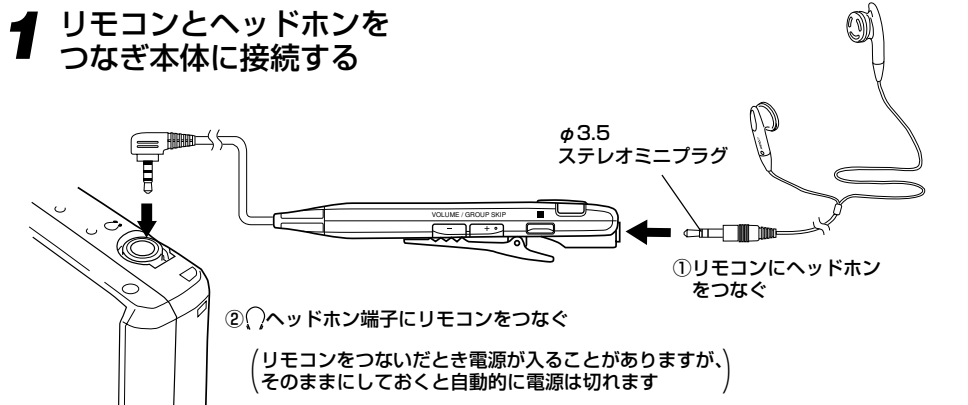
2 MDを入れる

②端を持ってふたを開ける。
（MDが入っていたときは出てきます）

③ラベル面を上にし、ふたに平行のままホルダーにロックするまで差し込む。
（誤ってメカニズムの部分には入れないでください。故障の原因となります）

ツメ
ラベル面を上に
ホルダー

①OPEN▶を右にずらし…

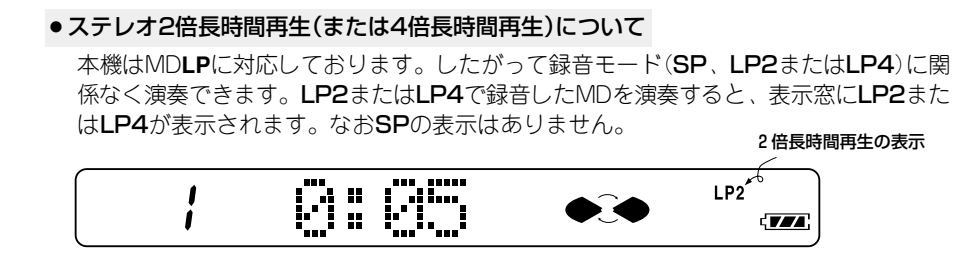
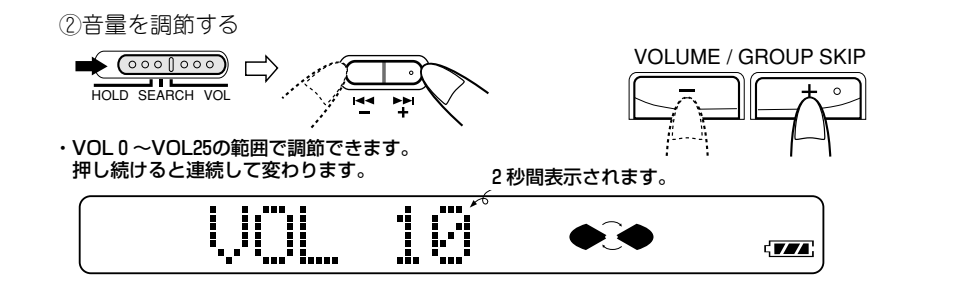
④ふたを閉める。➡電源が入り「HELLO」が表示されたあと曲番号と演奏時間がリモコンに表示されます。

〈お願い〉
●MDは、ツメに当たらないように差し込んでください。万一、ツメを曲げると、ふたが閉まらなくなることがあります。
●MDが入っているときは、指がMDに当たらないよう端を持って開けてください。

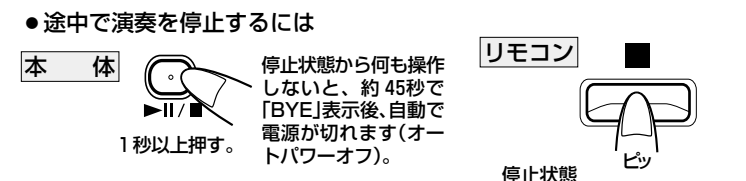
3 聞く

①演奏する

②音量を調節する

・VOL 0 〜VOL25の範囲で調節できます。
押し続けると連続して変わります。

●ステレオ2倍長時間再生(または4倍長時間再生)について
本機はMDLPに対応しております。したがって録音モード(SP、LP2またはLP4)に関係なく演奏できます。LP2またはLP4で録音したMDを演奏すると、表示窓にLP2またはLP4が表示されます。なおSPの表示はありません。

・SP　：標準のステレオ再生(MD80で最大80分)
・LP2：2倍長時間再生(MD80で最大160分)
・LP4：4倍長時間再生(MD80で最大320分)

〈お知らせ〉
・MDLPに対応していないMDレコーダーで録音したMDは標準モード(SP)で再生できます。

●途中で演奏を停止するには

・全曲の演奏が終わると自動停止します。

●リジューム再生機能
途中で演奏を停止したとき、MDを交換せずに ▶II/■ボタン(リモコンは ▶/IIボタン)を押すと、停止した曲の頭から演奏を再開します。

誤操作を防ぐには

カバンなどに入れて持ち運び中の思わぬ誤操作を防ぐことができます。本体とリモコンそれぞれにHOLDスイッチがあり、別々に誤操作防止状態にすることができます。

・矢印方向にHOLDスイッチをずらすと、操作を受け付けなくなります。通常の操作をするときは、スイッチを戻してホールドを解除します。

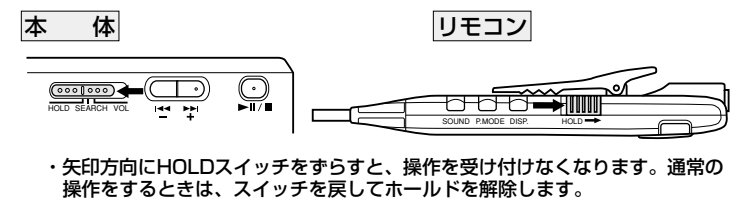
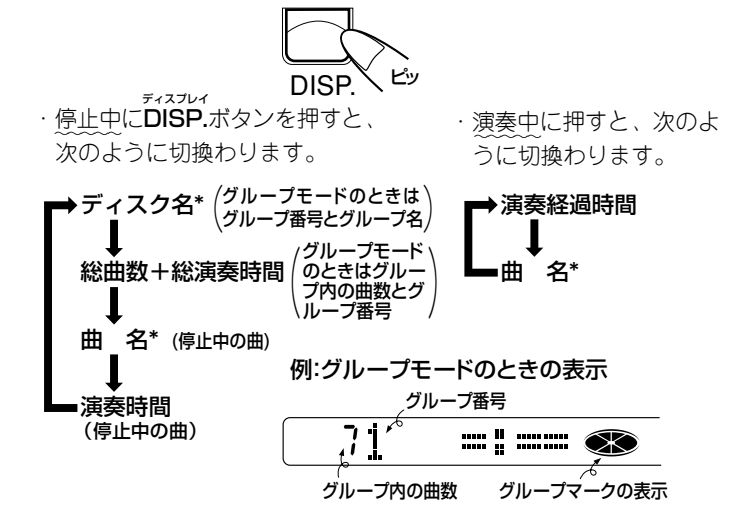
リモコンの表示を切換えるには

・停止中にDISP.ボタンを押すと、次のように切換わります。

ディスク名*（グループモードのときはグループ番号とグループ名）
⬇
総曲数＋総演奏時間（グループモードのときはグループ内の曲数とグループ番号）
⬇
曲　名*（停止中の曲）
⬇
演奏時間（停止中の曲）

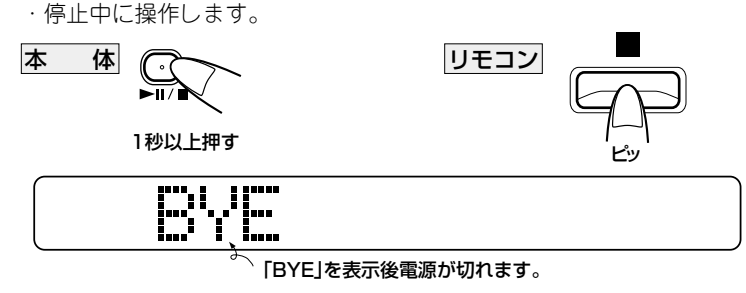
・演奏中に押すと、次のように切換わります。

演奏経過時間
⬇
曲　名*

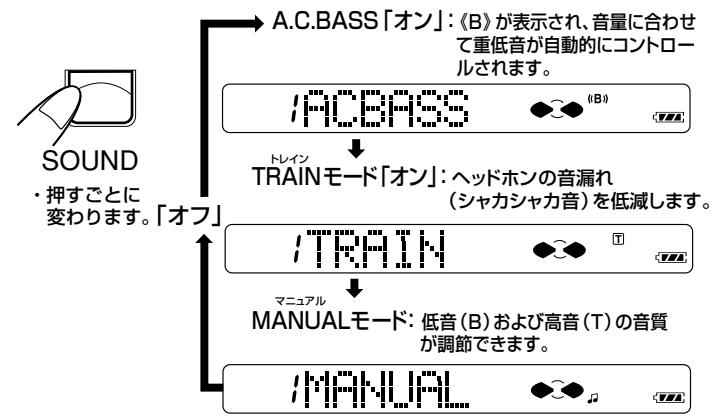
例:グループモードのときの表示
グループ番号
グループ内の曲数　グループマークの表示

＊ 9 文字以上はスクロール表示されます(最大ディスク名は 78 文字、曲名は 80 文字まで表示可能)。ディスク名や曲名が記録されていないときは音符マーク(♪♪…)が表示されます。

電源を切るには

・停止中に操作します。

「BYE」を表示後電源が切れます。

▶II/■ボタン(リモコンは ▶/IIボタン)を押すと電源が入り、MDが入っているとリジューム再生で演奏がスタートします。
（MDが入っていないときは、「No Disc」表示後、約10秒で電源が切れます）

便利な機能を使う

音質を変える(デジタルA.C.BASS機能)

● サウンド調節のしかた

1 SOUNDを押して「MANUAL」を表示させる

・表示窓に♫が表示されます。

2 SOUNDを2秒以上押して B┅┅┅T を表示させる

8秒以内に

3 ⏮または⏭を「ポン」と押して音質調節のモードにする

低音(BASS)の表示　高音(TREBLE)の表示

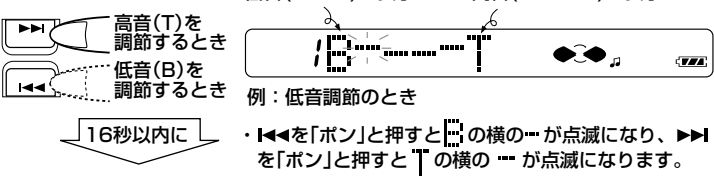
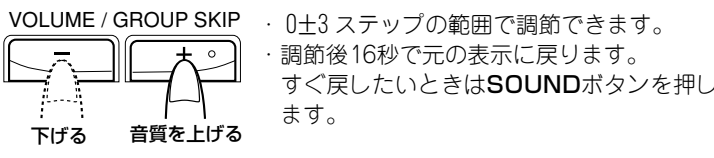
例:低音調節のとき

16秒以内に

・⏮を「ポン」と押すとBの横の┅が点滅になり、⏭を「ポン」と押すとTの横の┅が点滅になります。

4 VOLUMEで好みの音質に調節する

VOLUME / GROUP SKIP
下げる　音質を上げる

・0±3ステップの範囲で調節できます。
・調節後16秒で元の表示に戻ります。すぐ戻したいときはSOUNDボタンを押します。

アラーム機能を使う

電車の乗り過ごし防止などに使うと便利です。

1 DISP.を2秒以上押す➡ALARMと◢が表示されます

・T30:00 と◢表示に変わります。

お買い上げ時のアラーム時間(30分)表示
もう一度DISP.ボタンを押すかまたは8秒間何もしないと、元の表示に戻ります。

8秒以内に

2 ⏮または⏭でアラーム時間を設定する

8秒以内に

・00分～99分の範囲で設定できます。設定した値がメモリーされます。手順1のままで使うときは、この操作は必要ありません。
・⏮または⏭ボタンを押すごとに1分ずつ変わり、押し続けると連続して変わります。■(停止)ボタンを押すと設定が解除され元の表示に戻ります。

3 ▶/IIを押す

・◢が点滅に変わり、アラーム時間がカウントダウンします。このときDISP.ボタンを押すと元の表示に戻ります。

⋮

T00:00 になると、アラーム(ピッ・ピッ・ピッ音)が約30秒間鳴ります。この間再生音は聞こえません。途中でアラーム音を止めるときは、いずれかのボタンを押します。

くり返し聞く(リピート演奏)/ランダム演奏

リモコンのP.MODEボタンを押すと曲をくり返したり、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。2通りで使えます。

● 停止中に

・押すごとに次のようにモード表示が変わります。

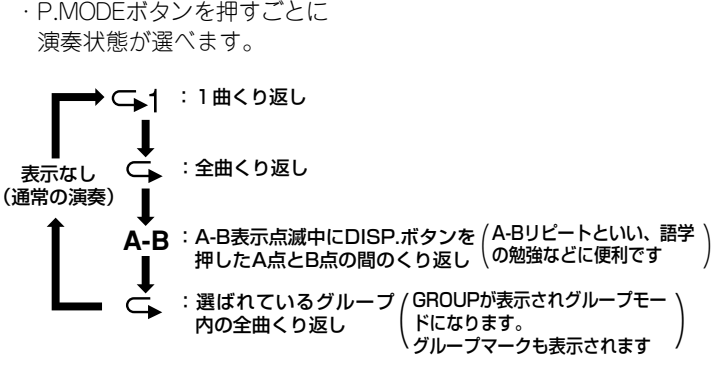
表示なし(停止状態)
- ⟲1:1曲くり返し
- ⟲:全曲くり返し
- ⟲RND:ランダムに全曲のくり返し(表示窓にRANDOMが表示されます)
- ⟲:選ばれているグループ＊1内の全曲くり返し(表示窓にGROUPが表示されグループモードになります。グループマークも表示されます)

▶/IIボタンを押すと、選んだリピートモードで演奏されます。この例ではグループ内の全曲くり返しになります。

＊1 グループとは…
グループ機能を搭載の機器で録音したMDに限り対応しています。MDLP機能により1枚のMDに録音した多くの曲を、例えばCDごとまたはアーティストごとなどに分けたまとまりのことで、グループ分けされていないMDは、このモードになりません。

● 通常の演奏中に

・P.MODEボタンを押すごとに演奏状態が選べます。

表示なし(通常の演奏)
- ⟲1:1曲くり返し
- ⟲:全曲くり返し
- A-B:A-B表示点滅中にDISP.ボタンを押したA点とB点の間のくり返し(A-Bリピートといい、語学の勉強などに便利です)
- ⟲:選ばれているグループ内の全曲くり返し(GROUPが表示されグループモードになります。グループマークも表示されます)

スリープ機能を使う

音楽を聞きながらおやすみになるとき便利です。

1 DISP.を2秒以上押したあとP.MODEを押す

・ALARM➡SLEEPに変わり、スリープ時間と♥が表示されます。もう一度P.MODEボタンを押すと、ALARMに戻ります。

8秒以内に

2 ⏮または⏭でスリープ時間を設定する

8秒以内に

・00分～99分の範囲で設定できます。設定した値がメモリーされます。手順1のままで使うときは、この操作は必要ありません。
・⏮または⏭ボタンを押すごとに1分ずつ変わり、押し続けると連続して変わります。■(停止)ボタンを押すと設定が解除され元の表示に戻ります。
・アラームにすると、このとき設定した時間になります。

3 ▶/IIを押す

・♥が点滅に変わり、スリープ時間がカウントダウンします。このときDISP.ボタンを押すと元の表示に戻ります。

⋮

スリープ時間を経過すると、「BYE」が表示され電源が切れます。

ディスクタイトルのメモリー(カスタマイズ機能)

電源が入ったとき「HELLO」の代わりに、記録済みのディスク名を表示させることができます。ディスク名を表示させてから操作します。

・停止中、DISP.ボタンでディスク名を表示させたあと…

・「MESSAGE:」が表示されたあと、ディスク名のスクロール表示に変わりメモリーされます。

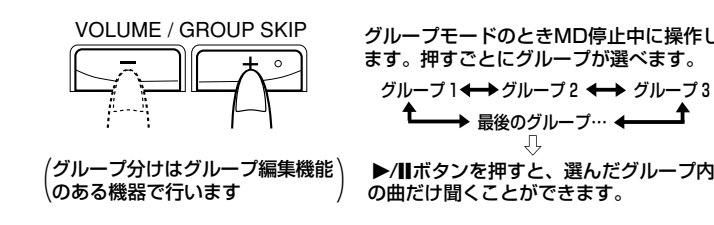
「HELLO」表示に戻すには、ディスク名の記録されていない録音済みのMDで音符マーク(♪♪…)を表示させてから同じ操作をします。

MDのグループスキップ

グループモードのときMD停止中に操作します。押すごとにグループが選べます。

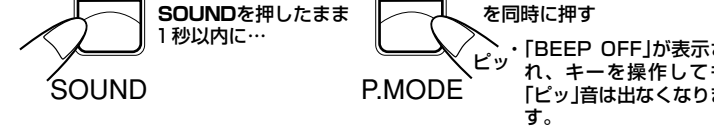
グループ1⟷グループ2⟷グループ3 … 最後のグループ…

(グループ分けはグループ編集機能のある機器で行います)

▶/IIボタンを押すと、選んだグループ内の曲だけ聞くことができます。

リモコン操作時の「ピッ」音を鳴らなくする

(SOUNDボタンまたは音量調節時は、キーを操作しても「ピッ」音が出ません)

・停止中または演奏中に…

・「BEEP OFF」が表示され、キーを操作しても「ピッ」音は出なくなります。

元に戻すときは、もう一度同じ操作をします。(BEEP ONが表示されます)

表示文字のコントラストを変える

周囲温度によっては文字スクロール時などで文字が見ずらいときは、コントラストを調節します。

・停止中または演奏中に…

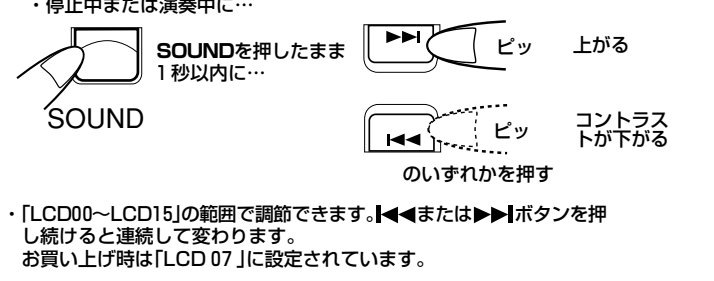
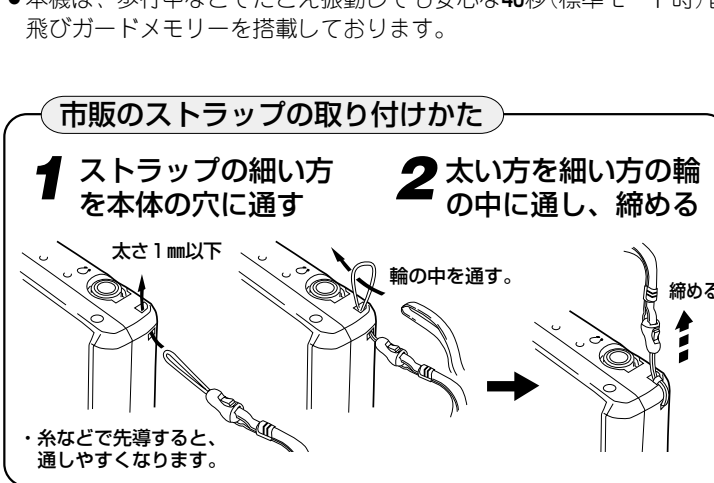
・「LCD00～LCD15」の範囲で調節できます。⏮または⏭ボタンを押し続けると連続して変わります。お買い上げ時は「LCD 07」に設定されています。

〈お知らせ〉

● 本機は、歩行中などでたとえ振動しても安心な40秒(標準モード時)音飛びガードメモリーを搭載しております。

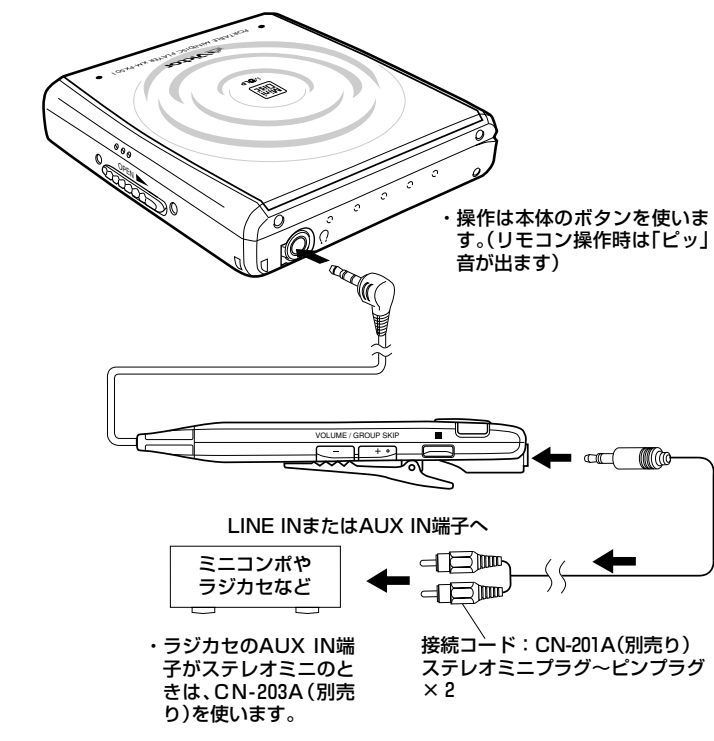
市販のストラップの取り付けかた

1 ストラップの細い方を本体の穴に通す

2 太い方を細い方の輪の中に通し、締める

その他の使いかた

	本体	リモコン
一時停止 (リモコンのディスクマークが点滅し、2分間何もしないと停止します)	演奏中に ▶II/■ ・「ポン」と押す。もう一度押すと演奏を再開します。	演奏中に ▶/II ピッ ・「ポン」と押す。もう一度押すと演奏を再開します。
頭出し(スキップ) ・停止中に押すと、曲ごとの演奏時間がわかります。 ・A-Bリピート時はA点に「戻る」のみ働きます。	HOLD SEARCH VOL 戻る　進む ・「ポン・ポン」と押す。	⏭ ピッ 進む ⏮ ピッ 戻る ・「ポン・ポン」と押す。
早送り・早戻し(サーチ) ・A-Bリピート時は働きません。	演奏中に押し続ける HOLD SEARCH VOL 早戻し　早送り	演奏中に押し続ける ⏭ ピッ 早送り ⏮ ピッ 早戻し

ミニコンポやラジカセで聞く

LINE INまたはAUX IN端子のある機器とつなぐと、MDの音を聞いたり録音することができます。本機の音量は適度に調節してください。

● 車の中で聞くときは

別売りのカセットアダプター:CK-101を接続コードの代わりに使います。カセットアダプターは、右ヘッドのカセットデッキに対応しています。

〈お知らせ〉

● リモコンを使わずに接続すると、雑音が出ることがあります。
● 接続する機器によっては、他のソース(音源)より音が小さいことがありますが、これは付属のヘッドホンに合わせてあるためで故障ではありません。